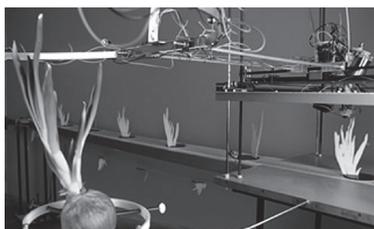


# NEWS CLIP & AV MATERIAL

## ◎ ニュースクリップ&映像教材



©David Bowen  
アート部門大賞受賞「growth modeling  
deviceインストール」

### ■平成21年度「第13回文化庁メディア芸術祭受賞作品展」

文化庁メディア芸術祭実行委員会（文化庁・国立新美術館ほか）による標記芸術祭は、このほど4つの部門で大賞を決定した。

受賞作品展は、平成22年2月3日（水）～14日（日）、国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）にて、開催される。入場無料。各部門の受賞作品等詳細は、<http://plaza.bunka.go.jp/festival/>を参照。

## NEWS CLIP

### AV情報

#### ■ パナソニック教育財団「平成22年度先導的実践研究助成」募集

（財）パナソニック教育財団では、初等中等教育におけるICTの効果的な活用を促し、実践を根付かせることへの支援を目的とした、高等教育機関の研究者に対する助成先を募集している。

〈内容〉 研究の性格に則り3つのタイプを設定。普及型（すぐに活用できるものを広く提供する）、モデル型（普及を見越して、先導的な実践を記述・開発し、その留意点などを抽出・整理する）、萌芽型（将来を見越して、新しい技術、新しい考え方に取組む）等。

〈応募資格〉 大学・短期大学、高等専門学校等の高等教育機関に所属する研究者。

〈助成内容〉 1年間の研究に対し、1件あたり50万円～150万円×8件程度。

〈研究報告〉 所定の報告書の提出、初等中等教育現場で実際に役立つ具体的な成果物（パンフレット、テキスト、教材等）

〈応募方法〉 所定の「申請書」に必要事項を記入し、捺印の上、提出。[http://www.pef.or.jp/activity/a08\\_sendou/a08\\_01gaiyo.html](http://www.pef.or.jp/activity/a08_sendou/a08_01gaiyo.html)から、応募要項・申請書をダウンロードできる。

〈募集期間〉 平成21年12月1日（火）～平成22年1月15日（金）消印有効。結果発表は、平成22年2月15日（金）応募者全員に通知。

〈問い合わせ先〉（財）パナソニック教育財団  
TEL 03-5521-6100

### コンクール情報

#### ■ 第6回「プリントコミュニケーションひろば」コンクール作品募集

（財）理想教育財団では、学校におけるよりよいコミュニケーション環境の醸成をめざし、各種通信の編集・制作の質を高めることを目的に本コンクールを開催する。詳細は下記の通り。

〈募集作品〉 教職員が「通信」を目的として編集・制作したもので、定期的に継続して発行されたもの。学級通信、学年通信、学校通信、教科通信、

給食だより、保健だより、図書館だよりなど。

〈対象〉 小・中・高等学校および特別支援学校の教職員等の教育関係者。

〈条件〉 ①平成21年4月以降に制作・発行された作品で、新聞・雑誌・コンクール等で未発表の作品に限る。②他の作者の著作権に触れない作品であること。③児童・生徒、保護者、地域社会に実際に配布した作品。④学校現場の機器を使用して複数枚数制作した作品であること等。詳細は、こちらを、<http://www.riso-ef.or.jp/>。

〈募集期間〉 平成21年1月4日(月)～3月31日(水) 当日消印有効。

〈賞〉 理想教育財団賞トロフィーと副賞(図書カード5万円分)1点、部門別優秀賞トロフィーと副賞(図書カード3万円分)4点他。

〈発表〉 平成22年6月上旬 財団ホームページ上にて。

〈問い合わせ・作品送付先〉 (財)理想教育財団第6回「プリントコミュニケーションひろば」作品募集係 〒105-0004東京都港区新橋2-20-15新橋駅前ビル1号館

TEL 03-3575-4313

## 研究会情報

### ■ 教育普及国際シンポジウム「伝統文化を伝えるために博物館ができること」

東京国立博物館では、標記シンポジウムを下記の通り開催する。

〈日時〉 平成22年1月24日(日) 10:00～18:00

〈会場〉 東京国立博物館平成館大講堂・ラウンジ(東京都台東区上野公園13-9)

〈内容〉 日本と諸外国の博物館の事例報告から、伝統文化を伝えていく方法、意義について考え、意見交換を行う。第一部「東京都国立博物館の事例」、第二部「さまざまな館の事例を通して―自国の伝統文化・美術を伝える(ヴィクトリア&アルバート美術館、オーストラリア国立博物館、シンガポール国立アジア文明博物館)」

〈対象〉 博物館・美術館関係者、教育普及担当者、博物館教育研究者、博物館と関わっている方々等。定員先着350名(要事前申込)。参加費無料。

シンポジウム申込締切は、平成22年1月17日(日)。ただし、定員に達した時点で締切。

詳細は、以下を参照のこと。[http://www.tnm.jp/jp/misc/docs/20100124edu\\_sympo.pdf](http://www.tnm.jp/jp/misc/docs/20100124edu_sympo.pdf)

〈問い合わせ先〉 東京国立博物館教育普及国際シンポジウム

mail edu@tnm.jp

### ■ 平成21年度情報教育対応教員研修全国セミナー

(社)日本教育工学振興会では、教育ネットワークがもたらす利点について、「授業での活用」と「校務情報化の推進」の視点から、具体的な実践事例を紹介する標記セミナーを札幌と東京の2会場で開催する。

〈日時〉 札幌会場 平成22年1月28日(木) 13:00～16:30 東京会場 平成22年1月29日(金) 10:00～16:30

〈会場〉 札幌会場 アーバンネット札幌ビル(札幌市中央区北一条西6丁目)、東京会場 Learning Square新橋(東京都港区新橋4-21-3新橋東急ビル)

〈テーマ〉 札幌会場「学校と先生をつなぐ 教育ネットワークセミナー」、東京会場「学校を変革する 地域教育ネットワークセミナー」を会場ごとのテーマとし、講師は、札幌会場 中川一史氏(放送大学)、藤村裕一氏(鳴門教育大学)、KimBoseon氏(韓国KERIS)、東京会場には、文部科学省、赤堀侃司氏(白鷗大学)ほか。

〈問い合わせ先〉 (社)日本教育工学振興会

TEL 03-5575-5365

### ■ 「教員のICT活用指導力向上研修パッケージ説明会」開催

教育情報化推進協議会((財)コンピュータ教育開発センターおよび(社)日本教育工学振興会ほか)では、「教員のICT活用指導力向上研修パッケージ」を開発し、この研修パッケージを各教育機関において企画されるICT活用に関する研修や校内研修、自己研修などで利用促進するための説明会を開催する。

〈日程〉 平成22年1月29日(金) 東京会場 目白大学、平成22年2月11日(木) 大阪会場 園田学園女子大学。時間は、各会場とも、10:00～17:00

〈対象〉 全国の教育機関の情報教育研修担当者、学校単位でも可能。

〈内容〉 研修パッケージの概要、研修テキストと教材群について、研修の進め方と体験的演習、研修支援システムの構成と運用・管理について。提供教材は、研修テキスト(文部科学省手引対応版)、教員のICT活用指導力規準表、研修指導用

マニュアル、指導者用・受講者用ワークシート、  
研修支援システムの運用マニュアル等。  
詳細は、<http://www.t-ict.jp/>を参照のこと。

〈問い合わせ先〉 教育情報化推進協議会（社）日  
本教育工学振興会内  
TEL 03-5575-5365 Mail [miyahara@japet.or.jp](mailto:miyahara@japet.or.jp)

## AV MATERIAL

### 文部科学省選定作品

■11月選定 紙紙しばい／ビデオ／DVD  
「やさしいまものバッパー」紙12枚〈幼稚園、小  
学校（低学年）／幼児、教養〉（株）童心社

### 放送番組・web配信

#### 中学生日記

（土）19:15～19:45／NHK教育  
翌週（土）12:30～13:00／再放送 NHK教育  
中部7県は翌週（日）11:00～11:30／再放送 NHK総合  
※都合により番組内容が変更となる場合があります。

#### ■2日 休止

※再放送枠（教育1月9日（土）は、中学生日記  
プレーバック「溺れる熱帯魚」（平成20年12月  
26日（土）放送分）

※再放送枠（総合1月10日（日）は、休止）

#### ■9日「内申アップ大作戦」

※再放送枠（総合1月17日（日）は、休止）

#### ■16日「オトナへの三味線」

#### ■23日「観覧車から見える町」

#### ■30日 中学生日記プレーバック「番組未定」

#### 発見！人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。  
〈放送についての問い合わせ〉  
（財）民間放送教育協会 TEL03-6406-2171

#### ■78回 9日「笑顔のおこう—山里フリースク ールの“母ちゃん”記—

（テレビ朝日）

#### ■79回 16日「わたし、八百屋です。先生やっ てます。」

（福井放送）

#### ■80回 23日「野生がおしえてくれた」

（北海道放送）

#### ■81回 30日「道ひらけ！」

（南日本放送）



#### エル・ネット

各機関で行われているさまざまな取組みを視聴  
できます。今月の主な新着コンテンツは、下記の  
通り（<http://www.elnet.go.jp>）。

〈8ch コンクール等〉

「20回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公  
演」

全国都道府県代表の高等学校生徒による芸術文  
化活動の発表の場として、全国高等学校総合文化  
祭が平成21年7月29日～8月2日まで三重県に  
おいて開催された。

芸術文化活動の一層の奨励をはかり、その成果  
を広く一般の方々に公開するため、全国大会に出  
場した学校の中で、特に優秀であるとの推薦を受  
けた優秀校による東京公演（文化庁・（社）全国高  
等学校文化連盟主催、於国立劇場）が、平成21  
年8月29・30日に開催され、発表校4校による  
日本音楽の公演の様態を視聴できる。

以下、発表校／曲目

○岩手県立盛岡第二高等学校／風雪の舞

○関西創価高等学校／カプリッチオ

○徳島県立城東高等学校／子供のための組曲

○宇都宮海星女子学院高等学校／焰